

PTA 総会あいさつ（校長より）

みなさまには、ご多用の中、令和7年度松江東高校 PTA 総会にご出席いただき、ありがとうございます。

また日頃より、本校 PTA 活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

この4月に校長として着任いたしました、吉岡淳でございます。この東高には、平成11年から14年の4年間勤務し、17期生の担任、20期生の一年担任をしました。よろしくお願いいたします。

少しお時間をいただき、お話をさせていただきたいと思います。

4月9日、200名の新入生を迎え、活気ある新年度のスタートを切ることができました。（590名）

特に今年、令和7年度の高校1年生につきましては、入試制度が大幅に変更されました。

推薦選抜を廃止し、特色選抜という形となり、

1月に行った特色選抜で、入学定員の約半分を合格内定とし、3月に行う一般選抜で残り約半分の選抜をするという形でした。

この入試制度の変更により、中学生の出願傾向は変わらないだろうか？⇒東高への志願が減ったりしないだろうか？

と大変心配しましたが、

実際には、特色選抜、一般選抜、ともに1倍を超える志願をいただくことができました。まさに「中学生にとって行きたい高校、保護者の皆様にとって行かせたい学校」であっただろうことが、本当にうれしく、今後においても、生徒・保護者の期待に応えられるよう、全校一丸となって東高の教育活動を展開していきたいと思っております。

東高の教育方針は『自立への道程』小さな挑戦、小さな気遣い、大きな志です。

教育目標は、高い知性と優れた人格を備え、心身ともに健全で、人間性豊かな人材の育成であり、

子どもたちのもつ可能性を信じ、挑戦する学校です。

東高生徒は未来の社会を担う人材です。

東高1期生が私と同年齢ですから、高校を卒業して、40年、大学を卒業して36年になります。

東高卒業生の中には、経済界で活躍されている方、行政、医療、教育、スポーツ・芸能・政治の世界までも、様々な場所で多くの卒業生が活躍されています。

つまり、在校生についても、今はまだ、学びの最中でありま

すが、東高生一人ひとり、卒業して 20 年 30 年と経てば、立派に社会を支えてくれる人材として成長してくれることと信じています。

この東高で、将来に向かって羽ばたく生徒一人ひとりの、今の成長や学びに関わることができることは、私たち教職員にとっての喜びであり、生きがいになっています。開校以来、変わらない『師弟同行』の教育を引き続き展開していきます。

保護者の皆様からも、お子さまの自立への長い道の先にある立派な可能性を信じ、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。